

科目名称：	社会的養護 I	
担当者名：	五十嵐 峰子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
施設実習に直接関係する科目であり、対象とする児童などの把握、各施設の目的、社会的養護の仕組み、児童の権利擁護の流れが分かる社会的養護の歴史を知り、児童との適切な関わりと基本的な支援について学び、学習者への期待として社会的養護を要する児童に暖かい思いを持てることを身につける。		
授業の達成目標・到達目標		
1. 社会的養護の役割と意味を踏まえ、その理念と基本原理を理解できる。 2. 社会的養護の歴史と成り立ちを理解できる。 3. 社会的養護の法制度とサービス体系を理解できる。 4. 子どもの権利擁護について説明できるようになる。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)		60%	20%	20%	100%
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)					0
					1

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス・社会的養護って何？	授業の進め方・社会的養護についての理解度を問う。	40分
第2回 社会的養護の意義と歴史1	「児童養護」を検索し調べをする。	30分
第3回 社会的養護の意義と歴史2	「児童福祉法」の課題について調べてくる。	30分
第4回 社会的養護の仕組み（施設養護・家庭養護）	施設養護の種類と家庭的養護と家庭養護の違いについてのプリントを読んでおく。	30分
第5回 社会的養護の仕組み（措置制度）	措置を基本とする施設を書き出してくる。	30分
第6回 社会的養護にかかわる機関	児童相談所の役割について書き出してくる。	20分
第7回 社会的養護に関連する法律（児童福祉法）	児童福祉法の出題から発表の準備をしておく。	40分
第8回 社会的養護に関連する法律（民法・DV法）	新聞から児童虐待の記事を読み、課題をまとめてくる。	30分
第9回 社会的養護に関連する法律（児童虐待防止法）グループワーク	各自が調べた児童虐待について考えをまとめておく。	60分
第10回 確認テスト・児童虐待についてグループワーク	グループで話された内容をまとめてくる。	20分
第11回 社会的養護と子どもの権利	子どもの人権擁護について日本国憲法の資料を読んでおく。	30分
第12回 障害児の入所施設（知的障害児・自閉症児）	「知的障害・自閉症スペクトラムとは」について調べておく。	30分
第13回 障害児の入所施設（肢体不自由児・重症心身障害児）	「肢体不自由児・重症心身障害児とは」について調べておく。	30分
第14回 社会的養護の基本原則子どもであることへの回復	専門職の連携が子どもの真実を読み取るためになぜ必要なのか、考えをまとめてくる。	30分
第15回 総まとめ小テスト	小テストの解説をよく読んでおくこと。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、**次回までの課題プリント(小レポート)**をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。  
中間の確認テスト・最後小テスト60%、学習に対し積極的な取り組み15%、課題提出20%、提出期日厳守5%

#### 課題に対するフィードバック

前回の講義内容を、次回の講義を始める前に振り返り、講義内容が円滑に進めるようにする。  
課題で調べた学習内容のノート提出し確認後返却する。不足の場合指導。

#### 教科書・参考書

教科書：図解で学ぶ保育 社会的養護Ⅰ（萌文書林）  
参考書：児童の福祉を支える社会的養護Ⅰ（萌文書林）・よりそい支える社会的養護Ⅰ（教育情報出版）